

第48回水の週間実施報告書



令和6年12月

水の週間実行委員会

第 48 回水の週間中央行事は、後援機関及び協賛団体の

皆様のご支援・ご協力により開催されました。

主催機関

水循環政策本部
水の週間実行委員会

国土交通省

東京都

後援機関

文部科学省
環境省
公益財団法人 日本科学技術振興財団

農林水産省
独立行政法人 水資源機構
NHK

経済産業省
一般社団法人 日本新聞協会

協賛団体（五十音順）

公益財団法人 河川財団
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会
一般財団法人 水源地環境センター
一般社団法人 全国建設業協会
一般社団法人 ダム・堰施設技術協会
一般社団法人 日本ガス協会
一般社団法人 日本建設機械施工協会
一般社団法人 日本水道工業団体連合会
一般社団法人 日本電機工業会
一般社団法人 日本レストルーム工業会

一般財団法人 河川情報センター
一般財団法人 国土技術研究センター
石油連盟
公益社団法人 全国建築物飲料水管理協会
電気事業連合会
一般社団法人 日本橋梁建設協会
一般社団法人 日本建設業連合会
日本製紙連合会
一般社団法人 日本ホテル協会
公益財団法人 リバーフロント研究所

一般社団法人 建設広報協会
一般財団法人 砂防・地すべり技術センター
一般社団法人 セメント協会
一般財団法人 ダム技術センター
一般社団法人 日本埋立浚渫協会
一般社団法人 日本経済団体連合会
一般財団法人 日本建設情報総合センター
一般社団法人 日本鉄鋼連盟
一般社団法人 日本林業土木連合協会

水の週間実行委員会委員団体

全国水土里ネット
一般財団法人 造水促進センター
公益社団法人 日本下水道協会
一般財団法人 日本ダム協会
地下水適正管理協議会
独立行政法人 水資源機構

公益社団法人 日本水道協会
全国簡易水道協議会
公益社団法人 土木学会
公益社団法人 農業農村工学会
国立研究開発法人 土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター
特定非営利活動法人 日本水フォーラム

公益財団法人 利根川・荒川水源地域対策基金
一般社団法人 日本治山治水協会
公益社団法人 日本河川協会
一般社団法人 日本工業用水協会

(目 次)

第 48 回「水の週間」の開催にあたり	4
第 48 回「水の週間」水を考えるつどい瑤子女王殿下おことば	7
第 48 回「水の週間」行事の概要	9
水の週間中央行事「水を考えるつどい」	10
水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	14
令和 6 年度水資源功績者表彰	16
第 46 回全日本中学生水の作文コンクール	18
一日事務所長体験	22
第 39 回水とのふれあいフォトコンテスト	24
上下流交流活動	27
国・地方公共団体等における取組について	30
広報の取組	34
第 48 回「水の週間」(令和 6 年度)都道府県行事一覧	38
第 48 回「水の週間」新聞等報道状況	39
「水の週間」実施経過	41
水の週間実行委員会について	44

※表紙の写真は、第 39 回水とのふれあいフォトコンテストグランプリ「ぼくらの日常」: 戸田美香氏
※表紙のロゴマークは、平成 27 年に選定された「健全な水循環」に関するロゴマーク

「水の日」及び「水の週間」について

昭和 52 年 5 月 31 日

閣 議 了 解

水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性について国民の関心を高め、理解を深めるため、「水の日」を設ける。

「水の日」は毎年 8 月 1 日とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」として、この週間において、ポスターの掲示、講演会の開催等の行事を全国的に実施するものとする。

上記の行事は、地方公共団体その他関係団体の緊密な協力を得て行うものとする。

「水の日」及び「水の週間」制定の理由

わが国の水需要は、生活水準の向上、経済の進展等に伴って近年著しく増大してきたが、一方水資源の開発は次第に困難になっており、渇水時には水不足が生ずることが予想される状況となっている。

このような状況にかんがみ、毎年 8 月 1 日を「水の日」とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」として、この週間において、水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性に対する関心を高め、理解を深めるための諸行事を行うことによってわが国の水問題の解決を図り、もって国民経済の成長と国民生活の向上に寄与することとしたい。

なお、諸行事を行うためには、年間を通じて水の使用量が多く、水について関心が高まっている 8 月の月上旬が適当であるので、その初日である 8 月 1 日を「水の日」とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」とするものである。

水循環基本法（平成 26 年法律第 16 号）

第十条 国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解と関心を深めるようにするため、水の日を設ける。

2 水の日は、八月一日とする。

3 国及び地方公共団体は、水の日趣旨にふさわしい事業を実施するように努めなければならない。

平成 26 年 7 月 1 日に水循環基本法が施行され、8 月 1 日は、国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解や関心を深める日として、法律で定められた「水の日」となりました。

第 48 回「水の週間」の開催にあたり



さいとう てつお
斉藤 鉄夫 水循環政策担当大臣（国土交通大臣）

水循環政策を担当しております国土交通大臣の斉藤鉄夫です。

本日は、瑤子女王殿下の御臨席を賜り、第 48 回「水の日」記念行事『水を考えるつどい』が、水循環基本法施行 10 周年という節目の年に開催できますこと、主催者として喜びに堪えません。

また、開催にあたり、多大なご尽力を賜りました小池会長を始め、全ての関係者の皆様に、心から敬意と感謝を申し上げます。

全日本中学生水の作文コンクールで入賞された皆様には、心よりお祝い申し上げます。

水は、生命の源であり、私たちの生活に大きな「恵み」を与えてくれる一方で、洪水や渇水などの「災い」をもたらすこともあります。世界的にも気候変動等の様々な要因が水循環に変化を生じさせ、水災害は激甚化・頻発化しています。

このような中今年 5 月には、「第 10 回世界水フォーラム」がインドネシアで開催され、我が国からは、気候変動をはじめとする水の課題に対して、流域のあらゆる関係者が協働して立ち向かっている取組を発信しました。

また、我が国では、令和 6 年能登半島地震の発生も踏まえ、この夏に水循環基本法に基づく基本計画の変更を予定しており、さらに健全な水循環の維持又は回復のための取組を推進していきます。

これらの取組を進めていくためには、国民の皆様には、水に対する関心を持っていただくことが不可欠です。

そのため、毎年、8 月 1 日を「水の日」、水の日から始まる 1 週間を「水の週間」として、この記念行事をはじめとして全国各地で様々な関連行事を開催しております。

本日の「水を考えるつどい」が、水のもたらす恵みを将来にわたり享受できる社会の構築に向けた一助となりますことを、心より期待しております。

結びとなりますが、本日ご参加の全ての皆様方の尚一層のご活躍とご健勝を祈念し、私のご挨拶とさせていただきます。

水循環政策担当大臣（国土交通大臣） 斉藤 鉄夫



東京都知事 代理出席 三宮 隆 東京都都市整備局理事（航空政策・交通基盤整備・交通政策担当）

ただ今御紹介いただきました東京都都市整備局理事の三宮でございます。

本日ここに、瑤子女王殿下の御臨席のもと、第48回「水の日」記念行事「水を考えるつどい」を開催できますことを、たいへん光栄に思いますとともに、この集いに御列席の皆様へ、心からお礼を申し上げます。本来ならば小池知事が御挨拶を申し上げるところでございますが、公務の都合により出席できないため、知事から預かってまいりました挨拶を代読させていただきます。

「水の日」を定める水循環基本法の施行から10年となる今年、多くの皆様の御尽力により、「水の週間行事」が全国各地で盛大に繰り広げられます。都民・国民の皆様が、水の大切さを改めて考える上で、誠に意義深いことと存じます。

「水」は私たちの生活を支え、日常に安らぎを与えてくれる大切な存在です。大地に降り注ぐ雨は「天の恵み」として、私たちに様々な恩恵をもたらします。時には、災害となって私たちに襲い掛かってくることもあります。先日来の山形県での大雨をはじめ、全国各地で発生している豪雨の被害に遭われた方々に、心からお見舞いを申し上げます。

気候変動もあり、激甚化、頻発化する風水害への対策は喫緊の課題であります。東京都は、百年先も安心できる強靱な首都東京の実現に向けて、「TOKYO強靱化プロジェクト」を策定し、水害に対してもハード、ソフトの両面から、対策を着実に進めております。

さらに、昨年12月には、「東京都豪雨対策基本方針」を改定しました。対策の目標とする雨量を引き上げ、総合的な治水対策を強化します。河川や下水道の整備、街に降った雨の流出抑制などの具体的な取組を加速させていきます。

また、東京は、蛇口から直接おいしい水を飲むことができる、世界でも数少ない都市です。安全で高品質な水道水は、大きな魅力であり、強みでございます。この高い水道技術や運営ノウハウを確実に未来に引き継ぎ、民間企業などと連携した国際展開も進めています。

振り返れば、江戸の昔から、東京は「水の都」として発展してきました。これからも、都民や事業者、国など、関係者の皆様のお力添えを賜りながら、「水」に関わる様々な施策を展開していきます。安全・安心で活力あふれる東京・日本を、みんなで目指してまいりましょう。

本日お集まりの皆様の益々の御健勝、御活躍を祈念して、御挨拶とさせていただきます。

令和6年8月1日 東京都知事 小池 百合子 代読



水の週間実行委員会 小池 俊雄 会長

水の週間実行委員会会長の小池俊雄でございます。

本日第48回目の「水の日」及び「水の週間」を迎え、ここに瑤子女王殿下の御臨席のもと、多くの方々にご参加いただき、この「水を考えるつどい」を開催することができまして、誠にありがたく、また嬉しく思います。主催者の一人として厚く御礼申し上げます。

この「水の日」および「水の週間」は、47年前、昭和52年5月の閣議了解によって制定されました。そして、さきほど斉藤大臣からご紹介がありましたように、10年前、平成26年に制定された水循環基本法におきまして、「国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解と関心を深めるようにするため」にこの「水の日」および「水の週間」が定められました。ここで言われる「健全な水循環」とは、「人間社会の営みと自然環境の保全に果たす水の機能が適切にバランスしている状態」をいいます。

また、今年も先週東北地方で大雨があり、山形県では日に線状降水帯が2度も発生し、大雨特別警報が2度発令されました。この大雨にともなって、秋田県、山形県の河川で氾濫・堤防が決壊し、死者・行方不明者4名、床上・床下浸水棟という被害となりました。世界各地でも豪雨が頻発しており、特に4月末から5月にかけての大雨で、ブラジルのリオ・グランデ・ド・スル州では、非常に多くの方が被災するというブラジル史上最悪と称される洪水も起きております。

このような事態に対応して、我が国では最先端の科学技術を駆使して気候の変化を洪水対策の計画に盛り込む手法が開発され、洪水被害の発生を減らすための施設整備に加え、流域のあらゆる関係者が、上流、下流のあらゆる場所で協力して、洪水が起こってもその影響をできるだけ減らし、素早く復旧できる体制を構築して、持続可能な社会づくりに貢献する「流域治水」の取組が始まっています。

今年5月にはインドネシアのバリにおいて「第10回世界水フォーラム」が開催され、世界各地の様々な知見や経験、科学技術が共有されました。特に「バンドン精神水サミット」において、天皇陛下は基調講演をビデオで寄せられ、水を通じた誰一人取り残されない繁栄の実現にむけて、「経験と知識の共有や、備えの大切さへの理解と行動が地球規模で望まれます」と述べられるとともに、「気候変動に適応し、水災害に立ち向かうためには、科学技術の更なる進展と多くの関係者の育成が不可欠」であるとも述べられました。

今年の「水を考えるつどい」は、この「健全な水循環」と「流域治水」の統合をテーマとしております。折しも、先ほど斉藤大臣からご紹介がありましたように、政府においてもこれらを一体的に取り組む「流域総合水管理」が推進されるところです。本日、全日本中学生水の作文コンクールで入賞の栄誉を受けられる皆さんの作文を拝読しましたが、10件のうち5件は水の利用・環境と災害の関わりについて触れておられ、感動を頂きました。誠にありがとうございました。このように、皆さまのお力を得て、「健全な水循環」と「流域治水」が、国民運動として広がり、さらに活発になることを祈念し、その推進に向けて皆さまの一層のご協力をお願い申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。

水の週間実行委員会会長 小池 俊雄

第48回「水の週間」水を考えるつどい

瑠子女王殿下 おことば



ただいまご紹介をいただきました、寛仁親王の次女の瑠子と申します。この「水の日」記念行事「水を考えるつどい」に伺わせていただきましてもう数回になりますが、陛下から私に替わり、「私は水の研究者でもないし専門家でもないのですが、よろしいのでしょうか」というお話を最初にさせていただいて、「それでも良い」というお話をいただき、今日も参加させていただいているのですけれども、私が自分自身で言うのははばかれますが、小池会長から「いい御挨拶を期待している」とプレッシャーをかけられてしまいましたので、大変緊張をしているところでございます。

「水について考える」というのは、小さい子供たちに関わらず、私たちも常に考えなければいけないことだと思います。今回受賞された方々の作文も拝見させていただきました。私は生まれてからずっと東京都心部で生活しておりますので、やはり災害であるとか、田植えであるとか、「水がきれいだ」というところを間近で感じるということはなかなか難しく、御所の中は木が多く虫などもたくさんいますし、割合緑が多いところだなどは思っておりますけれども、都心部に暮らしている子供たちからすると、あまり現実的なことではないのかなと思います。やはり一生懸命自分たちで勉強をして、考えながら経験していかないと、言葉として出てこないのではないかなと思います。

それに比べて例えば、名水百選に選ばれるようなところに住まれている子供たちが、現実的にその場で目にしていくというのはとても大きいと思いますし、おじいちゃん、おばあちゃんや親戚の方々が農業をされていたりすると、昔と今というところでも学ぶところがあると思いますし、そういうところから皆さんの作文の内容の濃さというのが伝わって、優秀者という形で表彰されたのかな、と思っております。

今回の作文を読ませていただいて良かったな、と思ったところは、ベトナムの日本人学校の方が受賞されていて、とても素晴らしいことではないかと思いました。それはどういうことかと申しますと、やはり海外のことを今の日本の子供たちが知る機会というのはあまり多くはないと思いますので、受賞されたこの文章が日本全国の子供たちに知られて、知ろうと思ったり、知りたいと思ったり、行ってみたいと思ってそして現地に学びに行っても良いと思いますし、逆に海外の日本人学校の方々が、自分の今住んでいる国はこういうことがあるんだよ、というような情報発信を、この作文を通してしていただけたら、より私たちも含めて、知れることがあるのではないかと思っております。

今回「水の日」は48回ということでございますけれども、「継続は力なり」という言葉がありますので、まずは50回を目指して続けていただきたいと思いますし、若い方問わず私たちも常に考えていかなければいけない災害のことも、能登地震も山形も様々ありますので、災害が起こってから気にする、考えるのではなくて、非日常ではなく日常的に皆さんが考えられるような時間が、少しでも長く増えることを願っております。

今日はお招きいただきましてありがとうございました。

第48回「水の週間」行事の概要

行 事	実 施 内 容	主 催 者 等
水の週間中央行事	1. 水を考えるつどい 日時:令和6年8月1日(木) 14:00～ 場所:日経ホール(東京都千代田区) 内容: ①主催者挨拶、瑤子女王殿下おことば ②第46回全日本中学生水の作文コンクール表彰式 ③上記作文コンクール最優秀賞受賞者による作文朗読 ④瑤子女王殿下と作文コンクール受賞者との御歓談 ⑤基調講演(俳優/気象予報士・石原良純氏) ⑥トークセッション(佐々木恭子氏、石原良純氏及び小池俊雄氏)	主催:水循環政策本部、国土交通省、東京都、実行委員会(注) 後援:文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省、(独)水資源機構、(公財)日本科学技術振興財団、NHK、(一社)日本新聞協会
	2. 水のワークショップ・展示会「おもしろい水のおはなし」 日時:令和6年8月5日(月) 10:00～16:00 場所:科学技術館(東京都千代田区) 内容: ①みんなの大切な「水みんフラ」(東京大学総長特別参与 沖大幹教授) ②プロジェクトWETワークショップ(2024ミス日本「水の天使」安井南さん) ③天気と水循環に関する講演(気象キャスター 寺川奈津美さん) ④打ち水大作戦2024 in 科学技術館 ⑤ダムなんでも相談室、工作教室及びパネル展示	主催:水循環政策本部、国土交通省、東京都、実行委員会
令和6年度水資源功績者表彰	水資源行政の推進に関し、特に顕著な功績のあった個人及び団体に対して、国土交通大臣が表彰状を授与。	主催:国土交通省
第46回全日本中学生水の作文コンクール	「水について考える」をテーマとして、中学生を対象に水の作文コンクールを実施。都道府県の各地方審査等を経た作品を中央審査会で審査し、優秀作品に対して最優秀賞(内閣総理大臣賞)等を授与。	主催:水循環政策本部、国土交通省、都道府県 後援:文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省、全日本中学校長会、(独)水資源機構、実行委員会
一日事務所長体験	全日本中学生水の作文コンクール優秀賞以上の受賞者のうち、希望する者について在住地近隣の関係機関の事務所等において一日事務所長体験を実施。	
第39回水とのふれあいフォトコンテスト	健全な水循環の重要性や水資源の有限性、水の貴重さ、水資源開発の重要性について広く理解と関心を深めることに資する写真作品を募集したフォトコンテストを実施。優秀作品に対して、国土交通大臣賞等を授与。	主催:実行委員会 後援:国土交通省、東京都、(独)水資源機構
上下流交流事業実施団体への助成	水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性についての啓発や、ダム水源地域の振興に資する上下流住民の連携に関する活動等を行う団体等に対し助成を実施。	主催:実行委員会
施設見学会	ダムや浄水場などの水に係わる施設の見学会を各都道府県等において実施。	主催:都道府県ほか
その他	・全国各地で①講演会、②展示会など多彩な催しの実施 ・ポスターの配布・掲示	

(注)「実行委員会」とは、「水の日」・「水の週間」の趣旨に賛同し、政府による「水の週間」の各種の啓発活動と一体となった諸行事を積極的に実施することを目的として、水に関係の深い団体により設立された「水の週間実行委員会」を指す。

水の週間中央行事「水を考えるつどい」



令和6年8月1日（木）、三笠宮家の瑤子女王殿下の御臨席を賜り、日経ホール（東京都千代田区）において「水を考えるつどい」（主催：水循環政策本部、国土交通省、東京都、水の週間実行委員会）が開催されました。

はじめに、主催者による挨拶の後、瑤子女王殿下よりおことばを賜りました。

続いて、「第46回全日本中学生水の作文コンクール」の表彰式が行われ、最優秀賞及び優秀賞を受賞された皆さんへの賞状の授与、最優秀賞（内閣総理大臣賞）を受賞された東京都新宿区立西早稲田中学校2年生の秋永橘香さんによる作文の朗読、「水の日」応援大使「シャワーズ」も参加した記念撮影が行われました。表彰式終了後、別室で瑤子女王殿下と全日本中学生水の作文コンクール受賞者との御歓談が行われました。

会場のホールでは、表彰式の後、俳優・気象予報士である石原良純氏に「空、地図、ダムから考える水と暮らし」と題しまして、ご自身が気象予報士を目指したきっかけ等の経験談を盛り込みながら基調講演をしていただきました。その後、ファシリテーターとして株式会社フジテレビジョンアナウンス室部長の佐々木恭子氏にご参加いただき、基調講演をしていただいた石原良純氏と、国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター長でもある、小池俊雄水の週間実行委員会会長とのトークセッション「健全な水循環と流域治水のこれから」を行いました。トークセッションの冒頭では、今年「ストックホルム水大賞」を受賞され、「水循環施策の推進に関する有識者会議」の座長を務める東京大学大学院工学系研究科の沖大幹教授からのビデオメッセージを上映しました。メッセージを受け、流域治水や災害に対する備えを自分のこととしてとらえる重要性、空を見上げるなど物事を大局的な視点でみる大切さなどについて意見が交わされたほか、全日本中学生水の作文コンクールの受賞者からの質問にもお答えいただきました。

【内容】

○主催者挨拶

斉藤 鉄夫（水循環政策担当大臣・国土交通大臣）

小池 百合子（東京都知事）（代読：東京都都市整備局理事 三宮 隆）

小池 俊雄（水の週間実行委員会会長・国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター長）

○瑠子女王殿下 おことば

○第46回全日本中学生水の作文コンクール表彰式

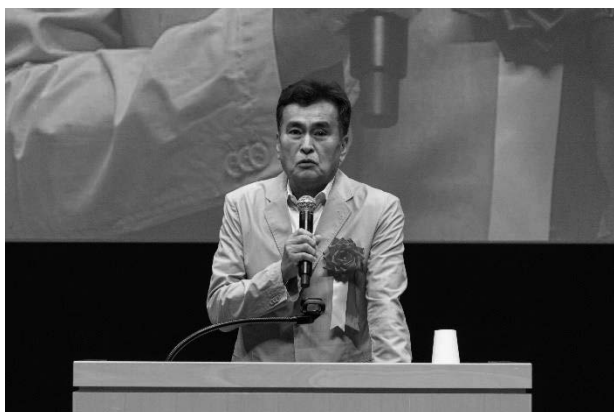


記念撮影

○瑠子女王殿下と全日本中学生水の作文コンクール受賞者との御歓談



○基調講演「空、地図、ダムから考える水と暮らし」 石原 良純 氏（俳優／気象予報士）



○トークセッション「健全な水循環と流域治水のこれから」

ファシリテーター:佐々木 恭子 氏（株式会社フジテレビジョン編成制作局アナウンス室部長）

登壇者：石原 良純 氏、小池 俊雄 氏（(国研) 土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター長／水の週間実行委員会会長）



○会場内 展示のようす



流域治水オフィシャルサポーター制度ポスター



流域治水関連パネル



「水の日」応援大使「シャワーズ」フォトパネル・スタンプ



水の週間実行委員会事務局展示



水とのふれあいフォトコンテスト入賞作品パネル



水の作文コンクール入賞作文パネル

令和6年度 第48回「水の日」記念行事 入場無料 事前申込制 水循環基本法施行10周年

水を考えるつどい

— 健全な水循環と流域治水 —

8月1日は
水の日

写真の湖(滋賀県近江八幡市)

開催日時 令和6年**8月1日(木)**
14:00~16:30 (会場での受付開始時間13:00)

会場 日経ホール(東京都千代田区大手町1丁目3-7)

14:00~14:50 主催者挨拶/全日本中学生水の作文コンクール表彰式など

15:00~15:40 基調講演
「空、地図、ダムから考える水と暮らし」
石原 良純氏 (俳優/気象予報士)

15:50~16:30 トークセッション
「健全な水循環と流域治水のこれから」
ファシリテーター: 佐々木 恭子氏 (株式会社フジテレビジョン編成制作局アナウンス室部長)
登壇者: 石原 良純氏、小池 俊雄氏 ((国研)土壌研究所水災害・リスクマネジメント国際センター長/水の週間実行委員会会長)



石原 良純氏



佐々木 恭子氏



小池 俊雄氏



シャワーズはきれいな水環境を主とし、
地球の水の分子に似ていることから、
「水の日」応援大使として「水の日」を応援しています。

©2024 Poheon. 01995-2024 Kiteo&Co/Creatives Inc./G&A/R. H&A/R, INC.
ポヘオンエンターテインメント/Poheonエンターテインメント/アーティストグループの登録商標です。

水循環基本法に基づき8月1日が「水の日」と定められました。
8月1日から7日は「水の週間」です。 www.mizunohi.jp

主催: 水循環政策本部、国土交通省、東京都、水の週間実行委員会
後援: 文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省ほか

「水の日」の趣意に関する情報はホームページへ(首相官邸、国土交通省、水の日・水の週間)



健全な水循環



流域治水

「水を考えるつどい」開催周知チラシ

水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」

水の週間実行委員会では、毎年8月に東京都内で水に関するパネル展示やブース出展などを行う「水のワークショップ・展示会」を開催しています。今年度は、「おもしろい水のおはなし」と題したイベントを令和6年8月5日（月）に科学技術館で開催しました。

主なイベントとして、水のノーベル賞と呼ばれる「ストックホルム水大賞」を受賞された東京大学総長特別参与・東京大学大学院工学系研究科 沖大幹教授による「みんなの大切な『水みんフラ』」と題した講演、気象キャスター寺川奈津美さんによる「お天気と水」と題した講演、（公財）河川財団の協力による2024ミス日本「水の天使」安井南さんによるプロジェクト WET のプログラムのひとつ「みんなの水」を会場の子供たちと一っしょに実演しました。

また、科学技術館の屋上では午前と午後の2回、打ち水大作戦本部の協力のもと「打ち水大作戦 2024 in 科学技術館」を実施し、東京都下水道局から提供いただいた再生水を用いた打ち水を行いました。さらに、科学技術館内で「ダムなんでも相談室」、工作教室のほか、水の週間実行委員会委員団体・協賛団体によるパネル・ポスター展示を行いました。

これらのイベントには、科学技術館に入館された多くの方々が参加され、イベントを通じて参加者の皆さんの水に関する関心が高まったものと考えています。

8月1日は水の日です！ 8月1日～7日は水の週間です！

第48回 水の週間中央行事 水のワークショップ・展示会
おもしろい水のおはなし

イベント参加費無料

みんなが毎日使う大切な「水」のこと知ってるかな？
めぐる水、みんなで一緒におはなしを聞いたりして楽しもう！

日時 2024年 8月5日(月) 10:00～16:00
場所 科学技術館(東京都千代田区北の丸公園内)4階実験スタジアムLほか
参加費 無料(入館料は必要です)

おはなしイベント

各おはなしイベントは最大50名様まで事前申込された方を優先受付します。参加申込みはQRコードから
受付 4階実験スタジアムL(10:00～14:00)

屋上イベント

当日来館された方は自由参加可ですが
(気象状況により中止する場合があります)
受付 4階団体休憩室前(9:30～15:00)

みんなの大切な「水みんフラ」
水のノーベル賞をもらった
すごい先生のおはなし
10:30～11:00
東京大学総長特別参与・
東京大学大学院工学系研究科
沖大幹 先生

ひんやり体験
打ち水大作戦 2024
科学技術館
① 10:00～10:30
② 15:30～16:00
各回先着50名様まで参加できます
多少水に濡れることがあります
協力：打ち水大作戦本部

体験イベント

受付 4階団体休憩室前

楽しい工作
水をつかってきれいな
ウォータースティックライトを
作ろう！
13:00～(先着50名様まで)

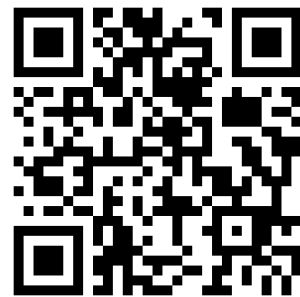
ダムなんでも相談室
10:00～16:00
自由に参加しよう！「君もダム博士」になれるよ！

パネル展示
動画上映
シャワーズといっしょに
写真が撮れる
フォトスポットもあるよ！

比べてみよう昔と今
「みんなの水」
2024ミス日本
水の天使さんと
ゲーム
11:10～11:50
水の天使
安井南さん
河川財団
プロジェクト WET
ワークショップ

水はめぐるよ
「お天気と水」
天気予報のお姉さん
のお話とクイズ
14:00～14:30
気象キャスター
寺川奈津美さん

問い合わせ先 水の週間実行委員会事務局 info@mizurochi.jp
主催 水産庁水産本部、国土交通省、東京都、水の週間実行委員会



水の週間 HP での紹介ページへ

水のワークショップ・展示会ポスター

○「水のワークショップ・展示会」



「水のワークショップ」会場（科学技術館）
沖大幹教授による「水みんフラ」に関する講演



2024 ミス日本「水の天使」安井 南さんによる
「プロジェクト WET ワークショップ」



気象キャスター寺川奈津美さんによる
天気と水循環に関する講演



打ち水大作戦 2024 in 科学技術館



パネル展示



工作教室（ウォータースティックライト制作）

令和6年度水資源功績者表彰

水資源行政の推進に当たって、水源地域の振興、水環境の保全、水源涵養、水資源の有効活用等に永年にわたって尽力されたことなど、特に顕著な功績のあった個人及び団体が、水資源功績者として表彰されました。表彰式は令和6年8月2日（金）に国土交通省において執り行われ、斉藤鉄夫国土交通大臣から表彰状が授与されました。

[個人]・・・2名

受賞者	功績概要
藤原 梯子 (埼玉県)	特定非営利活動法人 水のフォーラム 理事長 市民に対し流域の水に関わる情報提供等を行い、人と水との関わりの再構築に寄与する活動を行っている特定非営利法人「水のフォーラム」の設立から現在に至るまで、理事長を務めている。荒川流域における水への理解の促進を目的とした機関誌等による情報発信のほか、「見沼田んぼ」での伝統的循環農法の実践活動や荒川の上下流交流会の実施など、流域の水循環の保全や普及啓発に尽力している。 また、埼玉県「八ッ場ダム等の建設に関する基本計画変更に係る懇話会」の委員や、埼玉県川の再生懇談会の委員を務めるなど、水資源行政の推進にも貢献した。
虫明 功臣 (千葉県)	印旛沼流域水循環健全化会議 前委員長（現 顧問） 印旛沼流域水循環健全化会議の委員長を長年にわたり務め、「印旛沼流域水循環健全化計画」を策定し、印旛沼の水量回復、水質改善、生態系の保全等の具体的な取組を進める体制を整えた。 「印旛沼流域における雨水浸透施設及び雨水貯留施設の設置を推進するためのルール」を策定し、約5万基以上の雨水浸透マスの設置を実現。枯渇していた佐倉市内の名水「加賀清水」の湧水が復活した。 また、「印旛沼流域水循環健全化計画」は、「流域水循環計画」の初年度の1つとして国から公表され、令和5年には、国際会議（HLPF）での環境大臣政務官のあいさつの中で取組事例が紹介されるなど、先駆的な取組に貢献した。

[団体]・・・5団体

受賞者	功績概要
長内川川の会 (岩手県)	河川敷への植樹や支障木伐採、外来植物の防除や清掃活動などを毎年実施しており、長内川上流域の河川愛護団体のほか、県内及び近県の河川愛護団体等と交流の機会をもつ

	など、活動領域を拡大しながら、水資源の保全意識の普及啓発に努めている。
桂川・相模川流域協議会 (神奈川県)	神奈川県及び山梨県に事務局を置き、市民・事業者・行政が連携して、森林体験などの上下流交流事業や、流域環境保全の意識醸成を図るための流域シンポジウム、流域の清掃活動支援や水環境調査など、良好な流域の環境保全に貢献している。
加古川西部土地改良区 (兵庫県)	農業水利施設の保全の必要性についての理解を得るため、ため池の池干しを兼ねた雑魚取りや小学校社会科見学、地域住民の疎水ウォーク、水源地周辺の桜整備、地域の高校生による地元小学生への疎水授業を行うなど、活動内容を広げながら水資源の保全に貢献している。
筑後川下流農業開発 事業促進協議会 (福岡県)	筑後川下流域全体の豪雨災害を軽減するため、自治体と土地改良区、水利組合、農業協同組合などの関係者が連携して広域的に「クリーク（農業用排水路）の先行排水」を実施することで、流域治水対策に大きく貢献している。
白川中流域土地改良区協 議会 (熊本県)	JA、企業、行政等と連携し、涵養効果の高い白川中流域における水田湛水の取組を実施し、地下水の保全に貢献している。また、小学生・高校生を対象に田植えや稲刈り等の農業体験を実施しており、地下水保全の大切さや、農業・水田の多面的機能についての普及啓発に努めている。



令和6年度水資源功績者表彰 受賞者集合写真

第46回全日本中学生水の作文コンクール

全国の中学生及び海外日本人学校在学の中学生を対象に、「水について考える」をテーマとする「第46回全日本中学生水の作文コンクール」を開催し、本年は228校より総数7,516編の応募がありました。各都道府県の地方審査、中央審査会の審査等により、最優秀賞1編、優秀賞9編及び入選30編が選ばれました。

表彰式は、令和6年8月1日(木)に東京都千代田区の日経ホールで開催された第48回「水の日」記念行事「水を考えるつどい」にて執り行われ、優秀賞以上の受賞者に関係機関の代表者から賞状が授与されました。

表彰式に続いて最優秀賞を受賞された東京都 新宿区立西早稲田中学校2年生 ^{あきなが} 秋永 ^{きっか} 橘香さんによる作文の朗読が行われました。

(1) 主催等

主 催：水循環政策本部、国土交通省、都道府県
後 援：文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省、
水の週間実行委員会、独立行政法人水資源機構、全日本中学校長会

(2) 募集要領

- ①テ ー マ：「水について考える」（題名は自由）
- ②原 稿：400字詰原稿用紙4枚以内

(3) 中央審査会審査委員 ※敬称略 審査当時

瀧川 拓哉（農林水産省農村振興局整備部水資源課長
：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）
向野 陽一郎（経済産業省経済産業政策局地域経済産業グループ地域産業基盤整備課長
：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）
片貝 敏雄（国土交通省大臣官房審議官（水管理・国土保全局担当）
：内閣官房水循環政策本部事務局審議官）
筒井 誠二（環境省水・大気環境局環境管理課長
：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）
熊谷 恵子（全日本中学校長会編集部長）
須磨 佳津江（キャスター）
長崎 宏子（スポーツコンサルタント 元オリンピックスイマー）
渋谷 正夫（公益社団法人 日本水道協会調査部長）
藤井 政人（独立行政法人水資源機構理事）
橋本 淳司（水ジャーナリスト 武蔵野大学客員教授）

※表彰式の集合写真は、P11をご覧ください。

第46回 全日本中学生

水の作文 コンクール

作品
募集

考えよう。
そして伝えよう。
大切な「みず」のこと。

「水」をテーマにした作文を募集します。
「水」とは、みなさんにとって、
どんな存在ですか？
暮らしの中での体験や、
授業などで学んだこと、調べたこと・・・
みなさんにとって、
大切な「水」への思いを
つづってみませんか？



Photo:
中禅寺湖(栃木県日光市)

ポケットモンスター
No.134 シャワーズ

タイプ みず どくせい ちよすい

シャワーズはきれいな水辺に生息し、細胞が水の分子に似ていることから、「水の日」応援大使として8月1日「水の日」を応援しています。

◆ メインテーマ

水について考える
(個別の題名は自由)

◆ 応募対象

中学生(2024年4月時点)
海外からの応募もお待ちしております。
※作品は日本語でお書きください。

◆ 応募締切

【国内】各都道府県の水資源担当部局にお問い合わせください
【海外】令和6年5月17日(金)

◆ 提出先(問い合わせ先)

国土交通省水管理・国土保全局
水資源部水資源政策課
〒100-8918 東京都千代田区霞が関2丁目1番地3号
TEL:03-5253-8386(直通)

【主催】水循環政策本部、国土交通省、都道府県

【後援】文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省、
水の週間実行委員会、独立行政法人水資源機構、全日本中学校長会

8月1日は「水の日」 | 水循環基本法で、8月1日は「水の日」と定めています。8月1日から7日は「水の週間」です。

©2023 Pokémon. ©1995-2023 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK Inc. ポケットモンスター・ポケモン・Pokémon は任天堂・クリエイト・ゲームフリークの登録商標です。

水の作文 検索

※詳しくは、二次元バーコードから
「水の作文コンクール」ページを
ご覧ください。



第46回全日本中学生水の作文コンクール入賞者一覧

賞名	都道府県名	作文の題名	学校名	学年	氏名
最優秀賞 内閣総理大臣賞	東京都	田んぼの水に思いをはせる	新宿区立西早稲田中学校	2	秋永 橘香
優秀賞 農林水産大臣賞	徳島県	水を想い、水を守る	鳴門教育大学附属中学校	2	川原 もも香
優秀賞 経済産業大臣賞	北海道	水と共に暮らす	砂川市立砂川中学校	2	羽川 莉子
優秀賞 国土交通大臣賞	三重県	災害時協力井戸の活用	高田中学校	1	渡辺 心晴
優秀賞 環境大臣賞	静岡県	あまい水	不二聖心女子学院中学校	2	小池 翔子
優秀賞 全日本中学校長会会長賞	宮崎県	「輝け 日本の天然水」	宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校	3	崎田 莉央
優秀賞 水の週間実行委員会会長賞	ベトナム	水道大国ニッポン	ホーチミン日本人学校	3	中田 風咲
優秀賞 独立行政法人水資源機構理事長賞	香川県	おばあちゃんとの旅	高松市立国分寺中学校	3	山下 花音
優秀賞 シャワーズ賞	徳島県	未来へ繋ぐ水源	鳴門教育大学附属中学校	2	柳本 紗那
優秀賞 中央審査会特別賞	宮崎県	「地域をつなぐ水」	宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校	1	林 はる
入選（30編）	北海道	水と命	下川町立下川中学校	1	三浦 かりん
	福島県	未来のために水と向き合う	葛尾村立葛尾中学校	3	松本 晴樹
	福島県	ふるさとの水を思う	須賀川市立第三中学校	3	田 紗羅
	神奈川県	良質な水のために	川崎市立西生田中学校	3	加藤 孝祐
	新潟県	水と生きる社会	十日町市立中条中学校	2	玉田 佳暖
	新潟県	水が与えてくれる幸せ	新発田市立佐々木中学校	2	前田 七海
	新潟県	水の惑星の真の姿	新発田市立佐々木中学校	2	江端 愛莉
	石川県	島国、日本。水は循環する。	石川県立金沢錦丘中学校	3	西 凌成
	静岡県	水と人と食物	不二聖心女子学院中学校	1	名倉 和紗
	静岡県	恵みの雨	浜松市立笠井中学校	2	二村 陽日
	静岡県	エメラルドグリーンに魅せられて	常葉大学附属常葉中学校	2	西ヶ谷 あかり
	京都府	私の来世	京都先端科学大学附属中学校	2	徳田 葵
	京都府	籍水利資人工	京都先端科学大学附属中学校	3	江部 花音
	大阪府	水問題を解決するアプリ	大阪府立水都国際中学校	1	岡野 朱里
	大阪府	水質と生き物と私たち	大阪府立水都国際中学校	2	須摩淵 心
	大阪府	「水の都」を未来に残すために	大阪府立水都国際中学校	1	内海 はなえ
	兵庫県	織物の町と呼ばれる所以	兵庫教育大学附属中学校	3	片岡 映萌
	和歌山県	僕の大好きな水辺の町	田辺市立大塔中学校	2	田中 伸乃丞
	鳥取県	水と共に生きるために	鳥取市立桜ヶ丘中学校	2	高橋 彩夏
	香川県	水について考える	さぬき市立さぬき南中学校	2	西尾 菜奈
	福岡県	石けんでつなぐ水	福津市立福岡東中学校	3	渡口 紗衣
	長崎県	水は生き物だ	長崎大学教育学部附属中学校	3	小嶺 桃佳
	熊本県	未来を支える地産地消	八代市立第八中学校	3	稲田 侑子
	熊本県	じまんの水	八代市立第八中学校	1	田代 優羽
	大分県	命を育む水	大分市立竹中中学校	1	後藤 優奈
	宮崎県	祖父が作った焼酎	宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校	2	外山 杏実
	沖縄県	世界中の人がきれいな水と出会うために	宮古島市立城東中学校	2	下地 杏梨
	沖縄県	水は「当たり前」ではない	宮古島市立城東中学校	2	小山 蒼介
	沖縄県	よく耳にするあの放送	伊是名村立伊是名中学校	3	諸見 利音
	オランダ	水道と感情	アムステルダム日本人学校	3	塚本 伊織

内閣総理大臣賞（最優秀賞）

田んぼの水に思いをはせる

東京都 新宿区立西早稲田中学校 二年 秋永 橘香

「水」といつて私が一番最初に思いつくのは田んぼの水だ。まだ、幼稚園生だった頃、東京から田んぼや畑が多い地域に引っ越した。ここでは、父に連れられて何度も田植えに行った。田植えの仕方は農家のおじさん達が教えてくれた。水路や堰を管理する土地改良区という組織のおじさんだ。

田植えが終わると、生き物採集が待っていた。毎週毎週、長靴と着替えを持って出かけて行った。おじさん達、地域の小学生と夢中になって、たも網で田んぼや水路をすくった。一緒に水路をすくった小学生とは不思議とすぐに仲良くなれた。捕った生き物を大きな桶に集めた。メダカ、ドジョウ、タモロコ、ギンブナ、スジエビ、水棲昆虫、桶に入りきらない大きなコイ、ナマズが捕れることもあった。私は、すっかり田んぼの生き物が好きになり、自分用のたも網、水槽を揃え、家族で生き物を探しに行くようになった。

稲刈りも終わり、冬が訪れた。少し寂しいと思いつながら田んぼを見に行った。田んぼに水はなく、稲の切り株が寂しそうに残っていた。小鳥のさえずりがかすかに聞こえたが、生き物の気配は消え、静まり返っていた。

ドジョウが隠れているかもしれないと思い、水路の小さな水たまりを、たも網ですくってみた。ワア、思わず声をあげてしまった。網の中に、わずか二、三匹の小さな鮒が三匹、ピチピチと跳ねていたからだ。小さな水たまりに身を寄せ、春を待っていたのだ。こんなに小さくても、一生懸命に生きている。そう思い、慌てて私は小鮒を水路に返した。小さな水たまりが小鮒の命をつないでいたのだ。私もまだ小さかったが、水を命を支えていることを強く感じた。

小学校二年生の時、再び東京に住むことになった。田んぼや水路からは遠く離れたが、そこでの楽しい記憶は鮮明に残っている。

田んぼの水に思いをはせ、人と水について考えてみた。一枚一枚の田んぼを潤す水は、日本人の命を育むお米を育てている。張り巡らされた水路は血管、田んぼをめぐる水は、まるで血液の様だ。人間の体では血液に肺が酸素を供給、肝臓が有害物質を分解、腎臓が老廃物を除去している。この他、心臓、胃や腸、多くの内臓が各々の役割を果たし、命を支えており、どれかが停滞すれば、病気になってしまう。

水も血液と同じだ。汚れたり、不足すれば、人間は生きていけない。田んぼの水も、雨水を蓄える森林、川、ダム、堰、水路、田んぼ、これらが、多くの人々の絶え間ない努力によって守られ、しつかり役割を果たしているからこそ守られているのだ。

田んぼや水路について、知りたくなり、インターネットで調べてみた。血管のように張り巡らされた水路の長さは、四十万km、地球10周分に相当する。優しくしてくれた土地改良区や農家のおじさん達が昔から大切に守り続けてきたものだど知り、とても驚いた。

更に調べると、田んぼや水路は、お米を作る以外にも、とても貴重な役割を果たしていることが分かった。雨水を貯めて洪水を防ぐ、土砂崩れを防ぐ、川の流れを安定させる、地下水になる、水を浄化する、気温の上昇を緩和する、生物多様性を保全する、癒しや安らぎをもたらす。この多面的な機能が東京に住む私たちを含むすべての人々の生活を支えている。

田んぼの水はお米の中に蓄えられ、それを食べた人に吸収され、体が作られる。私達が安心して健康に過ごすためには、田んぼや水を守り続けなければならないと強く思った。

水のために私ができることには限界があるが、水を無駄にしない、油や汚い水を流さない、お米や野菜をおいしく食べる。最後に、田んぼや水を守る人達への感謝の心を大人になるまで持ち続けることを決意した。

一日事務所長体験

全日本中学生水の作文コンクールの優秀賞以上の受賞者を在住地近隣の国土交通省及び独立行政法人水資源機構の事務所等に招待し、一日事務所長として職場体験が実施されました。今年度は、受賞者8名が以下のとおり一日事務所長を体験しました（実施日順）。

- 受賞者名 宮崎県 宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校
崎田 莉央さん
優秀賞（全日本中学校校長会会長賞）
- 実施日 令和6年8月6日（火）
- 実施事務所 国土交通省 九州地方整備局
宮崎河川国道事務所



- 受賞者名 宮崎県 宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校
林 はるさん
優秀賞（中央審査会特別賞）
- 実施日 令和6年8月7日（水）
- 実施事務所 国土交通省 九州地方整備局
鶴田ダム管理所



- 受賞者名 北海道 砂川市立砂川中学校
羽川 莉子さん
優秀賞（経済産業大臣賞）
- 実施日 令和6年8月8日（木）
- 実施事務所 国土交通省 札幌開発建設部
岩見沢河川事務所
桂沢ダム管理支所



- 受賞者名 徳島県 鳴門教育大学附属中学校
川原 もも香さん
優秀賞（農林水産大臣賞）
- 実施日 令和6年8月13日（火）
- 実施事務所 独立行政法人水資源機構
池田総合管理所
早明浦ダム・高知分水管理所



○受賞者名 徳島県 鳴門教育大学附属中学校
柳本 紗那さん
優秀賞（シャワーズ賞）
実施日 令和6年8月15日（木）
実施事務所 独立行政法人水資源機構
池田総合管理所
早明浦ダム・高知分水管理所



○受賞者名 三重県 高田中学校
渡辺 心晴さん
優秀賞（国土交通大臣賞）
実施日 令和6年8月21日（水）
実施事務所 国土交通省 中部地方整備局
蓮ダム管理所



○受賞者名 静岡県 不二聖心女子学院中学校
小池 翔子さん
優秀賞（環境大臣賞）
実施日 令和6年8月22日（木）
実施事務所 国土交通省 中部地方整備局
長島ダム管理所



○受賞者名 香川県 高松市立国分寺中学校
山下 花音さん
優秀賞（独立行政法人水資源機構理事長賞）
実施日 令和6年8月22日（木）
実施事務所 独立行政法人水資源機構
池田総合管理所
早明浦ダム・高知分水管理所



第39回水とのふれあいフォトコンテスト

主催等 主催 水の週間実行委員会
後援 国土交通省、東京都、独立行政法人水資源機構

募集作品 健全な水循環の重要性や水資源の有限性、水の貴重さ、水資源開発の重要性について国民の間に広く理解と関心を深めることに資する作品

募集テーマ ・四季折々の自然と水
・人々の暮らしと水
・水を巡る歴史や文化
・水を届けるための施設

実施内容 今年度は応募方法を WEB 方式に一本化し、従来のカラープリント部門と SNS 部門を廃止しました。

また、募集作品のイメージを持っていただきやすいように、募集テーマを設けました。

入賞作品につきましては、下記の審査員により構成される審査会において計 24 作品（グランプリ [国土交通大臣賞] 1 作品、優秀賞 [東京都知事賞、独立行政法人水資源機構理事長賞、水の週間実行委員会会長賞] 各 1 作品、特別賞 [4 つの募集テーマより] 各 5 作品）を選考しました。

募集期間 令和 6 年 5 月 25 日（土）～ 令和 6 年 6 月 24 日（月）

応募総数 計 1,653 点

審査員（敬称略 審査当時）

中谷 吉 隆（写真家） 片貝 敏 雄（国土交通省大臣官房審議官）
中村 恵 美（写真家） 谷崎 馨 一（東京都都市整備局長）
筑紫 ゆうな（切り絵作家） 古橋 季 良（水の週間実行委員会運営委員長）
詩 歩（Shiho）（「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」プロデューサー）
ひきたよしあき（コラムニスト）

URL https://cinq.smartcontest.jp/mizunohi/?ct_key=DQJJLrSFAPzbK



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

【入賞作品】

〔グランプリ〕 1名

○ 国土交通大臣賞

「ぼくらの日常」

とだ みか 戸田 美香 (富山県)



〔優秀賞〕 3名

○ 水の週間実行委員会会長賞

「夏山写す只見川」

こぼやし としあき 小林 俊明 (神奈川県)



○ 東京都知事賞

「残暑も涼しく」

よねくら たつお 米倉 辰雄 (東京都)



○ 独立行政法人水資源機構理事長賞

「浅瀬石川ダム」

齋藤 奨司 (青森県)



〔特別賞〕 20名

【四季折々の自然と水】

「渴望」	の 能	と 登	まさ 正	とし 俊	(東京都)
「深々と」	もり 森	かわ 川	まきよ 清	み 美	(兵庫県)
「水のダイヤモンド」	あ 安	じき 食		かけろ 翔	(山形県)
「カタツムリベビーと雫」	いま 今	がわ 川	た 太	ろう 郎	(福岡県)
「魔法の泡」	おか 岡	ぎ 崎	ロ	レッ	(福岡県)

【人々の暮らしと水】

「和気藹々」	そう 相	ま 馬	たつ 達	や 也	(埼玉県)
「水とぼく」	やま 山	ね 根	ち ち	か か	(岩手県)
「放水」	たに 谷	の 野		たかし 隆	(山口県)
「祈りの流れ」	はやし 林			たくみ 巧	(滋賀県)
「水で祝福」	しら 白	き 木	ゆう 勇	じ 治	(京都府)

【水を巡る歴史や文化】

「砥崎河原の瀑走」	すえ 末	ひろ 廣	しゅう 周	ぞう 三	(福岡県)
「施餓鬼の河原」	やま 山	さき 崎	しゅう 秀	し 司	(兵庫県)
「水神様に捧げて」	ふじ 藤	まつ 松	まさ 政	はる 晴	(佐賀県)
「雷電さまの水」	とみ 富	どころ 所		のぼる 上	(新潟県)
「いざ坂東太郎へ」	もり 森	た 田	えい 栄	いち 一	(埼玉県)

【水を届けるための施設】

「水管橋とススキ」	にし 西	むら 村	しげ 茂	お 雄	(滋賀県)
「Cannele」	おお 大	ば 場	しん 信	た 太	(山形県)
「鯉が泳ぐ水道タンク」	お 小	ば 原	たか 貴	ひと 仁	(宮城県)
「水を守る」	おぎ 荻	やま 山	きよ 清	かず 和	(岐阜県)
「雪流れの季節」	あぜ 畔	はら 原		みのる 実	(新潟県)

上下流交流活動

水の週間実行委員会は、水資源の有限性、水の貴重さ、水資源開発及び健全な水循環の重要性について、国民の間に広く理解と関心を深めるため、ダム水源地域等の振興等に資する活動を行う団体への助成事業を行っています。令和6年度についても助成に関する公募を行い、以下に掲げる19事業が行われています。

No.	実施団体	名称・内容	実施日・実施場所
1	愛知東農業協同組合	こども農学校 JA 愛知東の経営理念「未来に残そう水と緑」を念頭に、管内 20 校の小学 3 年生～6 年生を対象とし、次の代を担う管内の子どもたちと共に、ふるさと奥三河の自然に触れながら農業・自然の大切さ、食べ物大切さを学ぶことを目的とする「こども農学校」の 20 期目事業として、本年度は現在建設中の「設楽ダム」の里山の一角にカエデを植樹するなど経営理念に沿った活動を実施	4月21日～12月7日 (年8回実施) JA 愛知東管内（新城市、設楽町、東栄町、豊根村）
2	江北町ウクレレサークル	アクアフュス KOUHOKU 夏の暑さを公園での水浴びで凌ぎつつ、マルシェや地元のアマチュアミュージシャンの演奏を楽しむイベントにおいて、健全な水循環の重要性や、水資源の有限性、水の貴重さ、水資源開発の重要性について理解を深める場を設け、災害時の事前落水にも触れながら治水についても考えとともに、山間部、平野部の住民交流を促進する活動を実施	7月31日～8月27日 佐賀県江北町みんなの公園
3	一般社団法人 元気座	谷山の自然を守ろう 村田ダム及び一体に広がる谷山自然公園の環境整備を通じて、貴重な動植物の生態系、貴重な自然景観の保全及び清流の保全を図るとともに、地域内外に現地の自然資源の魅力発信の為のガイド活動や環境整備を通じ住民間の交流拡大を目指す活動等を実施	7月1日 宮城県村田町 谷山自然公園内
4	あまぎ水の文化村	ウォーターフェスティバル 2024 文化村の特性を活かした上下流交流を目的とする活動として、親子で水に親しむ「ウォーターアクティビティ」（鮎のつかみどり体験・アクアチューブで水上散歩・リアルボールプール）、親子で参加できる多彩なワークショップなどのほか、地元商店らによる物販や飲食物の販売を実施	7月21日 福岡県あまぎ水の文化村 アクアカルチャーゾーン
5	愛知用水土地改良区	愛知用水水源交流事業 水源地王滝村の村有林にて育樹作業を行い、水源涵養の大切さを体感するとともに、水源地域住民との交流を図ることにより、水源地域の現状や今後の発展等について意見交換を実施	7月24日～25日 長野県王滝村
6	北海土地改良区	第16回 北海幹線用水路ウォーキング 河川から取り入れられる用水路などの農業用水利施設を幅広く一般の人たちに知ってもらうとともに、米を作るには大量の水が必要なことと農業農村地域の多面的機能を知っていただく事を目的としたウォーキング大会を実施	7月28日 北海道美唄市光珠内町

7	岐阜県下呂市	ロックフィルダムフェス（岩屋ダム公開点検放流イベント） 岩屋ダムを活かした地域振興、下流域の自治体住民との交流、水資源の重要性の啓発等を目的として、岩屋ダムの公開放流設備点検、岩屋ダム秘蔵フィルム上映及び飲食バザー、地域資源のPR等を実施	7月28日 岐阜県岩屋ダム周辺及び岩陰公園
8	豊田市上下水道局	水循環デジタルスタンプラリー 「水の日」「水の週間」の関連行事の一環として水資源の有限性や水の貴重さ等への関心を高め理解を深めてもらうため、矢作ダムや水道・下水道に関連する施設、給水スポット「ガンダムマンホール」等を巡るスタンプラリーを実施	8月1日～31日 矢作ダム、水源の森、中切水源配水場、こまどり公園雨水調整池、飲料用循環式耐震性貯水槽ほか6施設
9	豊川総合用水土地改良区 公益財団法人愛知・豊川 用水振興協会	令和6年度豊川用水上下流交流事業 豊川用水の水源地や上流地域、下流地域にお住まいの児童及び保護者、教職員を対象に、普段生活している場所とは違う地域へ案内し、農業における豊川用水の有効利用について啓発交流事業を実施	8月2日 愛知県新城市
10	四国中央市湖水まつり 実行委員会	湖水まつり 銅山川疏水が実現し、ダムの完成により豊富な水が宇摩地域を潤し、市勢や地場産業が飛躍的な伸展を遂げ、現在では「命の水」として四国中央市の大変貴重な水源になっており、ダム建設により失われた山紫水明の里の貴重な自然と水源地域の人々の尊い犠牲に対する感謝の気持ち醸成と併せて嶺南地域の活性化の一助となる湖水まつりを実施	8月3日 愛媛県金砂湖畔公園
11	神奈川県秦野市	第8回秦野名水フェスティバル 「秦野名水版SDGs」をテーマに水の大切さを周知するため、秦野駅において、名水を未来へつなぐ体験、東海大学と連携した名水科学実験、名水水族館、市内事業者による名水マルシェ、新たな取り組みとなる足水・打ち水体験や水生生物調査等を実施したほか、学生団体による風鈴テラスを会場に設置	8月3日 小田急小田原線「秦野」駅周辺
12	びわ湖の水と地域の 環境を守る会	次世代の子供達に自然環境体験学習 野洲市の1級河川「家棟川」再生に向けて、淀川流域における上下流の住民間の交流を促進し、琵琶湖の自然環境及び水資源の大切さを学ぶ事業として、下流域（大阪府豊中市等）の子供達と地元の子供達で、家棟川の生態調査をしながら、琵琶湖（あやめ浜）でシジミの収穫体験を実施	8月4日 滋賀県野洲市内 （家棟川周辺：あやめ浜）
13	北海道岩見沢市	令和6年度 水のイベント2024 ふれあい水ひろば 水資源の有限性、貴重さ及び水資源開発の重要性について市民の関心を高めるとともに、岩見沢市の上下水道の理解を深めることを目的として、利き水体験や、水を浄化する体験、給水タンク車からの給水体験、上下水道に関する啓発パネル、上下水管の展示をおこなう参加型イベントを実施	8月7日 北海道岩見沢健康広場
14	姫里地域青少年育成会 余呉・姫里子ども交流 会実行委員会	第34回 余呉・姫里子ども交流交歓会 淀川（大阪）の上流となる丹生川（余呉）、その地域で暮らす子ども達と交流することでお互いの地域の良さを知る場として、水源地である余呉にて水に触れ、木の葉の音や虫の声を聴き、土の匂いをかぐ体験から、川を通してのつながりや水の大切さ、自然環境を守り育むことの大切を学ぶ交流交歓会を実施	8月17日～18日 滋賀県長浜市余呉町一帯

15	宮城県女川町教育委員会	未来の女川ー魅力発信ー子どもたちからのメッセージー 女川の水源地めぐりとしての川の探検、生き物採集、小水族館づくり、ポストカード作り、発表会等を通じて女川の魅力【海と山そして美しい川を守ろう】というメッセージを町民に呼びかける交流活動を実施	9月30日～11月30日 宮城県女川奥清水渓流水域・女川町立女川小学校
16	東播用水「水と緑の交流」実行委員会	東播用水源流ミニツアー 東播用水の主要水源である丹波篠山地域の森林が、水環境保全に役立っている実態を理解してもらうことを目的とした東播用水の受益者並びに一般住民が上流地域の住民との交流活動を実施	10月19日 兵庫県丹波篠山市内
17	特定非営利活動法人地域と自然	よし笛の響き in Dam 新しい川文化としてのよし笛コンサート、そして川とダムにまつわるトークにより、メディア効果も含めて広く一般の人に安らかな空間の中で新しい川文化と川やダムのお話を紹介する交流活動を実施	11月3日 京都府日吉ダム堤体内部
18	利根川源流讃歌合唱団	第22回 水のふるさと「利根川源流讃歌」コンサート 12の組曲「利根川源流讃歌」の発表を通じて源流から太平洋へと流れる利根川の素晴らしさを伝えるため平成13年度より群馬県内各地で毎年コンサートを継続して開催しており、今年度は県外からの合唱団も参加して渋川市において交流活動を実施	11月23日 群馬県渋川市中央公民館ホール
19	加古川西部土地改良区	翠明湖の桜を救え！ 水源地との上下流交流の一環として、水源地への感謝を表すため、上下流の住民が協働して翠明湖(糞屋ダム)周辺の管理用道路に植樹された桜の下刈り及び立木伐採等の周辺整備を実施	11月24日 兵庫県翠明湖(糞谷ダム周辺)

【実施状況（抜粋）】



第34回 余呉・姫里子ども交流交歓会
(姫里地域青少年育成会・余呉・姫里子ども交流会実行委員会)



愛知用水水源交流事業
(愛知用水土地改良区)



ロックフィルダムフェス
(岩屋ダム公開点検放流イベント)
(岐阜県下呂市)

国・地方公共団体等における取組について

内閣官房水循環政策本部事務局をはじめとする国の機関や地方公共団体等において、水に関する理解を深めるための取組が実施されました。

○子ども霞が関見学デー

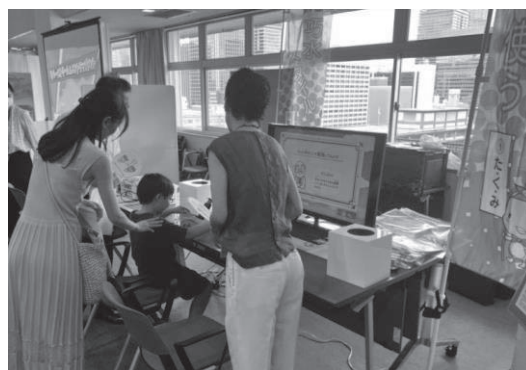
日時 令和6年8月7日（水）～8日（木）

場所 中央合同庁舎3号館10階共用会議室（東京都千代田区霞が関2-1-3）

実施協力 巧水スタイル推進チーム（日本レストルーム工業会）

内容 水について考えよう！～「巧水（たくみ）検定」を行うよ～

タブレット端末を使用した「巧水検定」を行い、クイズ形式で「水の賢い使い方」を楽しく学習してもらいました。



実施協力 NPO 法人雨水まちづくりサポート

内容 親子で挑戦! 「あまみず検定」特別編

雨をテーマにしたミニ実験で水の浸み込みやすさと地面の関係を見たり、クイズに答えて、水循環やあまみず活用に関する知識を身につけました。



○国土交通省内でのパネル展示

期間 令和6年8月9日（金）～令和6年8月22日（木）

場所 合同庁舎3号館1階正面玄関展示スペース（東京都千代田区霞が関2-1-3）

内容 第39回水とのふれあいフォトコンテスト入賞作品、令和6年度水資源功績者表彰受賞者功績概要、第46回全日本中学生水の作文コンクール優秀作品を展示し、国土交通省職員及び来庁者に水の大切さをPRしました。



パネル展示状況
（水とのふれあいフォトコンテスト入賞作品）



パネル展示状況
（水資源功績者表彰受賞者功績概要）

○都道府県等が実施する「水の日」「水の週間」関連行事

国、地方公共団体、その他関係団体による「水の日」「水の週間」関連行事が、令和6年度は全国で304行事実施されました。その中の1例をご紹介します。

第5回水フェスタ【鹿児島県始良市】

期 間 令和6年8月3日（土）

場 所 始良市水道事業部 船津浄水場

主 催 鹿児島県始良市（水道事業部）

参加者 約700人

内 容 8月1日から7日までの水の週間の普及啓発活動の一環として、普段、当たり前にある「水」と楽しく触れ合う機会を持っていただく場として開催しました。



「第5回水フェスタ」ポスター



親子放水チャレンジ



水の実験室

○「水の日」・「水の週間」ブルーライトアップ

実施日 令和6年8月1日（木）～7日（水）

場 所 全国各地の施設（171 か所）

内 容 より多くの人に「水の大切さ」や「健全な水循環」について考えていただくため、地方公共団体・事業者・民間の団体等の協力を得ながら、全国各地の施設を、「水」を連想させるブルーにライトアップしました。

昨年度に引き続き、「水の日」・「水の週間」である8月1日（木）～7日（水）の期間で実施しました。

ブルーに染まった各地の施設



山梨県庁 別館
(山梨県甲府市)



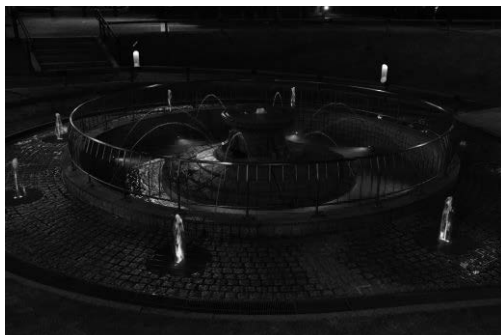
高知城
(高知県高知市)



レインボーブリッジ
(東京都港区)



長安ロダム
(徳島県那賀町)



水都の泉（亀の池）【大垣駅南街区広場】
(岐阜県大垣市)



尾原ダム
(島根県雲南市)

○第6回「水のある暮らし」フォトコンテスト【(一社) 日本レストルーム工業会】

募集期間 令和6年3月1日(金)～令和6年5月31日(金)

結果発表 令和6年8月1日(木)

主催 一般社団法人 日本レストルーム工業会

入選 最優秀たくみ賞：1点、優秀たくみ賞：3点、たくみ賞入選5点

内容 巧水スタイル※1推進の一環として、水への関心を高め、節水を考える機会の創出を目的とした「水のある暮らし」フォトコンテストを実施しました。

幅広い年齢層の方から多くのご応募をいただき、応募作品を通して、改めて水が身近にあることの喜びとともに、その恵みの尊さ・大切さを感じることができました。

入選者は8月1日の「水の日」にあわせ、(一社) 日本レストルーム工業会ホームページ等で発表しています。

※1 巧水スタイルとは、「水を賢く使う社会」の実現のために、日本が世界に冠たる水の国、巧水(たくみ)の国となっていけるよう、産学官の連携によって「節水意識」の向上と「節水化技術」、「節水化システム」の普及・啓発を図る活動によって目指す社会のキーワードです。

募集チラシ

第6回「水のある暮らし」フォトコンテスト
最優秀たくみ賞 受賞作品

広報の取組

国民に「水の日」（8月1日）を広く知っていただき、健全な水循環の重要性について理解と関心を深めていただくため、令和3年7月に水循環政策担当大臣（国土交通大臣）が、ポケットモンスターの「シャワーズ」を「水の日」応援大使に任命しました。

「シャワーズ」大使には、「水の日」PR動画への出演をはじめ、さまざまな活動を通じ、「水の日」の認知度の向上に努めていただいています。

○「水の日」動画によるPR

投稿日 令和6年7月1日（月）

媒体 YouTube（国土交通省チャンネル）

URL https://www.youtube.com/watch?v=Xj00_cFYZXM

今年は琵琶湖を舞台に、「水の日」応援大使「シャワーズ」と2024ミス日本「水の天使」の安井南さんが出演する「水の日」PR動画を制作し、YouTube（国土交通省チャンネル）で公開しました。

今年の動画も大きな反響を受け、公開から約1か月で25万回再生を記録しました。



水の日 PR 動画

動画はYouTube（国土交通省チャンネル）以外に、国土交通省合同庁舎3号館1階展示コーナーや長崎県庁、安曇野市役所（長野県）など全国のデジタルサイネージにて放映されました。



長崎県庁1階ロビー



安曇野市役所東口ホール

○8月1日「水の日」までのカウントダウン

今年度も「水の日」カウントダウン動画を制作し、8月1日「水の日」の5日前から、国土交通省X（旧Twitter）で公開しました。

「水の日」PR動画と同じ琵琶湖を舞台とした「水の日」カウントダウン動画の投稿へは、約2週間で計1万「いいね」が付きました。



○「水の日」ポスターによるPR

期間 令和6年7月1日（月）～令和6年8月7日（水）

場所 関係府省庁、都道府県、市町村、鉄道会社等で掲出

内容 動画等による周知に加えて、より多くの国民の皆様へ「水の大切さ」についての理解と関心を深めていただくため、「水の日」応援大使「シャワーズ」と2024ミス日本「水の天使」の安井南さんを採用したポスターを制作し、積極的な情報発信を行いました。ポスターは、官公庁（地方公共団体、地方整備局等）、水資源機構事務所のほか、全国の鉄道会社やイオンモール等の民間企業の施設でも掲示いただき、「水の日」の認知度向上を図りました。（ポスター配布枚数約2万枚）



令和6年度「水の日」ポスター



ポスター掲出状況
東京メトロ（霞ヶ関駅）

○「水の日」応援大使「シャワーズ」の派遣事業

地方公共団体が主催する「水の日」関連行事に、行事の実施効果を高め、「水の日」の認知度の向上及び国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解と関心を深めてもらうため、「水の日」応援大使「シャワーズ」を派遣しました。

今年は、3か所の「水の日」関連行事に「シャワーズ」が登場し盛り上げました。

■ 7月27日（土）静岡県菊川市 市制20周年記念 生活環境フェスタ



■ 8月2日（金）東京都墨田区 あまみずフェスティバル



■ 8月4日（日）大阪府藤井寺市 「水の日」SDGs フェスタin藤井寺

～水資源保全と持続可能な未来へ～



また、今年度は新たに「水の日」応援大使「シャワーズ」のフォトパネル・スタンプについて、4か所の自治体に貸出しを行い、各自治体の「水の日」関連行事の盛り上げに貢献しました。

■ 7月24日（水）大分県大分市 おおいた水の日 2024 水の実験教室 雲と雨をよぶ魔法！？
～ためして学ぼう「水」の循環～

■ 7月20日（土）埼玉県さいたま市 さいたま打ち水大作戦2024
7月28日（日）埼玉県さいたま市 自然観察・環境学習会
※行事以外（8月1日（木）～8月31日（土））は春野図書館に設置

■ 8月4日（日）愛知県岩倉市 水辺まつり2024
※行事以外（8月5日（月）～8月31日（土））はアデリア総合体育文化センターに設置

■ 8月3日（土）神奈川県秦野市 第8回秦野名水フェスティバル

設置の様子



おおいた水の日 2024
(大分県大分市)



さいたま打ち水大作戦 2024
(埼玉県さいたま市)



水辺まつり 2024
(愛知県岩倉市)



第8回秦野名水フェスティバル
(神奈川県秦野市)

第48回「水の週間」（令和6年度）都道府県行事一覧

項目 都道府県名	ポスター	パンフレット	映画会・音楽会・研修会 講演会・シンポジウム等	上下流交流 施設見学会等	街頭キャンペーン	展示会等	水の作文コンクール	広報・PR活動等					
								テレビ	ラジオ	新聞	広報紙	ホームページ	懸垂幕・横断幕 電光掲示板・立看板
全国	47	7	5	10	3	24	47	5	7	14	16	37	17
北海道	○					◎	◎					○	
青森県	○					☆	◎					○	
岩手県	○						◎					○	
宮城県	◎	◎				○	◎		○			○	
秋田県	○						○						
山形県	○						○					◎	
福島県	○						◎				☆	○	○
茨城県	○					○	◎			○		○	
栃木県	○	◎					◎					○	○
群馬県	○			○			◎						
埼玉県	○			○		☆	◎		○	◎	◎	◎	◎
千葉県	○					○	◎				◎	◎	
東京都	○		◎			◎	◎						○
神奈川県	○		○			◎	◎			☆	◎	◎	☆
新潟県	○						◎					○	
富山県	○						◎			○		○	
石川県	○						◎						
福井県	○					○	○				☆	☆	
山梨県	○					○	○						
長野県	○	◎				○	○			☆			
岐阜県	◎	◎				○	○			☆	☆	◎	☆
静岡県	◎	◎	◎				◎		☆	☆	☆	◎	
愛知県	◎			☆		☆	◎				◎	◎	○
三重県	○			☆			◎					○	
滋賀県	○						◎			○		○	
京都府	○			☆		☆	◎			☆		☆	☆
大阪府	○						◎				☆	☆	☆
兵庫県	○				◎	◎	◎			☆	☆	◎	
奈良県	○					◎	◎						
和歌山県	○						◎					○	
鳥取県	○						○						
島根県	○						◎			○	○	○	
岡山県	○			☆		○	○						☆
広島県	○						◎					○	
山口県	○						◎					○	○
徳島県	○						◎					○	○
香川県	○	◎	○	○		○	◎	○	○	○	○	○	
愛媛県	○			☆		◎	◎	○			◎	◎	
高知県	○				◎		◎					◎	
福岡県	○			☆	◎	☆	◎		○		○	○	◎
佐賀県	○					○	◎						○
長崎県	◎		☆			☆	◎	☆		☆	☆	◎	◎
熊本県	○						◎					◎	
大分県	○			◎		◎	◎	○				◎	○
宮崎県	○						◎	○	○	○		○	○
鹿児島県	○						◎		☆		☆	☆	
沖縄県	○	◎				○	◎					○	

注)「ポスター」欄の○は、全国共通版(国土交通省作成)を配布したことを示し、◎は都道府県等で独自に作成したのもを配布したことを示す。

「パンフレット」欄の◎は、都道府県等で独自に作成したものを配布したことを示す。

「水の作文コンクール」欄の◎は、都道府県レベルでの「地方表彰」を行っていることを示す。

それ以外の○は、都道府県が独自に取り組んでいることを示し、◎は都道府県に加え市町村等が独自に取り組んでいることを示し、

☆は市町村等のみが独自に取り組んでいることを示す。

第48回「水の週間」新聞等報道状況

月 日	都道府県	新聞名	地域	見 出 し
6月7日	福島県	福島民報	地方	中学生水の作文県コンクール喜多山さん(矢吹)ら最高賞
6月7日	静岡県	伊豆日日新聞	地方	水資源の大切さ学ぶ 函南東小 県が出前教室
6月13日	埼玉県	埼玉新聞	地方	ハッ場ダム親子で見学
7月17日	埼玉県	埼玉新聞	地方	◆さいたま打ち水大作戦
7月23日	愛知県	建通新聞	地方	愛知県 8月1日から あいちの農業用水展開催
7月24日	大分県	TOSテレビ大分	地方	「水が氷になる瞬間」を観察 小学生が実験に挑戦 「達成感があつた」
7月25日	群馬県	上毛新聞	地方	ダムの縁でサッカー交流
7月26日	北海道	北海道新聞	地方	<北見>英会話コンテストで全道1位 相内中の原さん「水の作文」でも道内3位 「将来は国際的な仕事を」
7月27日	北海道	プレス空知	地方	羽川さん全国優秀賞 水の作文コン
7月27日	青森県	デーリー東北	地方	入賞作品など78点を展示「水の日」ポスター写真展始まる
7月30日	静岡県	岳南朝日	地方	水の不思議な力に関心寄せ「水の日」に合わせ体験教室
7月30日	香川県	四国新聞	地方	香川用水通水50周年記念「命の水」水源地に感謝
7月31日	茨城県	茨城新聞	地方	中学生水の作文コンクール小橋さん(茨城大附属中)最優秀 県表彰式
7月31日	北海道	北海道新聞	地方	水の作文全国優秀賞 砂川中2年・羽川さん 石狩川の大切さ説く
7月31日	香川県	高知新聞	地方	水源地高知への感謝忘れず 香川用水通水50年 高松市で式典
8月1日	富山県	北日本新聞	地方	きょう8月1日は「水の日」、水の王国とやま
8月1日	岡山県	山陽新聞	地方	岡山県庁舎ライトアップ
8月1日	香川県	四国新聞	地方	県民潤す「いのちの水」、半世紀
8月1日	熊本県	熊本日日新聞	地方	熊本市で「水の日」記念シンポ 半導体産業の集積…地下水保全テーマに意見交わす
8月2日	福井県	福井新聞	地方	青い光「水の日」PR
8月2日	福井県	日刊県民福井	地方	ちょうちん200個 夏夜に涼届ける
8月2日	福井県	日刊県民福井	地方	大野の豊かな水知ろう 児童ら川で水生生物調査
8月2日	長野県	市民タイムス	地方	夏休み 特別な体験 水の恵み ツアーで実感
8月2日	島根県	山陰中央新報	地方	「水の日」に合わせ夜間ライトアップ
8月2日	香川県	読売新聞	地方	香川用水50年功績感謝 高松の記念式典に200人
8月2日	沖縄県	沖縄タイムス	地方	中学生5人優秀賞 水の作文 入選5人も表彰
8月3日	島根県	山陰中央新報	地方	「水の週間」を啓発4施設ライトアップ
8月3日	岡山県	山陽新聞	地方	高梁川の恵みに感謝

8月3日	岡山県	中国新聞	地方	高梁川の恵みに感謝
8月3日	宮崎県	朝日新聞	地方	夜に浮かぶ青
8月5日	富山県	北日本新聞	地方	バランス取って流木乗り 砺波で庄川水まつり
8月5日	富山県	富山新聞	地方	庄川水まつり 市民が制作、無事進水 巨大いかだ冒険気分
8月5日	富山県	北陸中日新聞	地方	空きボトルいかだ 浮いた！進め！「庄川水まつり」にぎわう
8月5日	京都府	日本水道新聞	全国	施設も”水”色に
8月6日	和歌山県	テレビ和歌山	地方	水の作文 県審査優秀賞表彰式
8月6日	香川県	四国新聞	地方	魚のすくい取りに歓声 三豊で「水辺の納涼祭」
8月7日	富山県	富山新聞	地方	中学生8人が入賞 水の作文コンクール
8月7日	北海道	プレス空知	地方	全日本中学生水の作文コン 経済大臣賞を受賞 砂川中2年の羽川 莉子さん「水を守る行動を」
8月7日	神奈川県	神奈川新聞	地方	遊んで学べる水道の夏祭り はまっ子水道まつり2024開催！
8月7日	静岡県	岳麓新聞	地方	黄瀬川で親子水辺の教室「サワガニつかまえたよ」
8月8日	岐阜県	岐阜新聞	地方	水都に青い光
8月8日	和歌山県	和歌山放送(ラジオ)	地方	第46回「全日本中学生水の作文コンクール」和歌山県優秀作品の表彰式
8月8日	香川県	四国新聞	地方	香川用水の歴史クイズや展示で 高松、通水50周年記念
8月9日	福島県	福島民友	地方	山崎さんらたたえる中学生水の作文表彰式
8月9日	和歌山県	わかやま新報	地方	田中さんが全国入選 中学生水の作文コンクール
8月11日	静岡県	静岡新聞	地方	知事賞に新井さん、小池さん 「水の週間」作文コンクール
8月12日	静岡県	静岡新聞	地方	黄瀬川の生き物観察 御殿場で児童ら水質を調査
8月16日	福井県	日刊県民福井	地方	涼感たっぷり水遊び
8月19日	三重県	夕刊三重	地方	「水の作文」で国交大臣賞
8月21日	茨城県	茨城新聞	地方	記者手帳 水への関心共有して
8月22日	福井県	福井新聞	地方	「水」学ぶ実験 子ども楽しむ
8月22～24日	滋賀県	京都新聞	地方	滋賀県中学生水の作文コンクール
8月24日	山口県	宇部日報	地方	親子で生き物探しに夢中 厚東川で水辺の教室、水質調査も
8月25日	和歌山県	紀伊民報	地方	田中さん(大塔2年)全国で入選 中学生水の作文コンクール
8月25日	長崎県	長崎新聞	地方	37年ぶり 長崎・島原で名水サミット 湧水と地域づくり考える
8月28日	大阪府	日本下水道新聞	全国	親子で下水道を学ぶ 豊中市 バスツアーで処理場見学
8月31日	香川県	四国新聞	地方	早明浦ダムで「一日所長」

「水の週間」実施経過

メインスローガン「水—この限りある貴重な資源」 「水は限りある貴重な資源です」

(国土庁発足 S49. 6. 26)
 (国土交通省に再編 H13. 1. 6)
 (水循環政策本部発足 H26. 7. 1)

年・回	サブスローガン	ポスターキャッチフレーズ	実施事項	備 考
昭和 52 (1)	貴重な水・あなたと一緒に考えたい	水の用心	○水の週間展示会 (国土庁会議室) (ポスター、パンフレット) ○第 1 回水資源に関するシンポジウム (10. 25)	・水の週間閣議了解 (5. 31) ・国連水会議 (3. 14 ~ 25) ・第三次全国総合開発計画閣議決定
昭和 53 (2)	水の価値をみなおそう 水源地域の人々に感謝しよう 水とのふれあいのなかで……	水も難局だな	○ウォーターフェア’ 78 (銀座 松屋)	・水の週間実行委員会設立 (5. 8、11 団体) ・長期水需給計画策定 ・福岡渇水
昭和 54 (3)	水源地域の人々に感謝しよう 水の大循環の中で私たちは… 限りある水—いまこそいかそう私 たちの智恵—	育てよう水 —足どり確かに、 — 一步一步。 —	○ウォーターフェア’ 79 (船の科学館) ○第 1 回全日本中学生水の作文コンク ール ○水資源功績者表彰 ○ウォーターフェアふくおか (福岡市)	・水資源世論調査
昭和 55 (4)	節水型社会をめざして 上下流の連帯を育てよう	貯めましょう日本の水 —みんなの水を、みんなの水 で。 —	○ウォーターフェア’ 80 東京 (科学技術館) ○上下流交流運動	・地域水需給計画推進 ・沖縄渇水
昭和 56 (5)	水源の人たちに感謝しまし いのちの水・水とのであい。	今日の水・明日の水 —水みんなの和で 育てよう。 —	○ウォーターフェア’ 81 東京 (科学技術館) ○第 1 回ウォーターフェア隅田川 レガッタ ○ウォーターフェアポートピア (兵庫県)	・水研究協力校の指定
昭和 57 (6)		丈夫な水に育てたい。	○ウォーターフェア’ 82 東京 (科学技術館) ○第 2 回水資源に関するシンポジウム (8. 3 ~ 5)	・長崎水害
昭和 58 (7)		やさしい、水、好き。	○ウォーターフェア’ 83 東京 (科学技術館)	・これより毎年、水資源白書作成
昭和 59 (8)		水の愛につつまれて	○ウォーターフェア’ 84 東京 (科学技術館)	・水資源局から水資源部へ改組 (国土庁) ・国際河川博覧会 (アメリカ・ニュー オリンズ)
昭和 60 (9)	考えよう水—くらしと水・資源とし て水—	水・ありがとう。	○ウォーターフェア’ 85 東京 (科学技術館) ○ウォーターフェア KOBE (神戸市)	・冬期渇水
昭和 61 (10)	築こう 水のある豊かな暮らし	いつも水といっしょ。	○ウォーターフェア’ 86 東京 (科学技術館) ○ウォーターランド (新宿副都心) ○第 1 回水とのふれあいフォトコンテ スト ○ダム子供マラソン (宮ヶ瀬ダム)	・水資源世論調査 ・冬期渇水 (西日本)
昭和 62 (11)	水のある豊かな暮らし	水は、ともだち。	○ウォーターフェア’ 87 東京 (科学技術館) ○第 3 回水資源に関するシンポジウム (浩宮殿下による特別講演) (8. 4 ~ 5)	・首都圏渇水 ・第四次全国総合開発計画閣議決定 ・全国総合水資源計画 (ウォータープ ラン 2000) 策定
昭和 63 (12)	水のある豊かな暮らし	ぼくの水、みんなの水。	○ウォーターフェア’ 88 東京 (科学技術館) ○水の日記念テレビトーク	・浩宮殿下展示会御台臨 ・竹下内閣総理大臣記念式典臨席
平成元 (13)	水のある豊かな暮らし	水、今日もありがとう。	○ウォーターフェア’ 89 東京 (科学技術館)	・皇太子殿下展示会行啓 ・宇野内閣総理大臣記念式典臨席
平成 2 (14)	水のある豊かな暮らし	水がささえる豊かな社会	○ウォーターフェア’ 90 東京 (科学技術館)	・人と水とのかわり世論調査 ・首都圏渇水

年・回	サブスローガン	ポスターキャッチフレーズ	実施事項	備 考
平成3 (15)	水が支える豊かな暮らし	水…みんなの宝	○ウォーターフェア’91 東京 (東京都庁)	・皇太子殿下記念式典、展示会行啓
平成4 (16)	水が支える豊かな暮らし	考えよう、水のあした	○ウォーターフェア’92 東京 (東京都庁) ○第4回水資源に関するシンポジウム (10.24)	・環境と開発に関する国連会議
平成5 (17)	水が支える豊かな暮らし	水がなくては生きられないから ね	○ウォーターフェア’93 東京 (墨田区役所)	・「国連水の日」制定(3.22)
平成6 (18)	水が支える豊かな暮らし	すばらしい自然の恵み 「水」を見直そう	○ウォーターフェア’94 東京 (墨田区役所)	・村山内閣総理大臣記念式典臨席 ・全国的な渇水 ・人と水とのかかわり世論調査
平成7 (19)		大切に使おう、かけがえのない 「水」	○ウォーターフェア’95 東京 (墨田区役所)	
平成8 (20)		天の恵み「水」。ありがとう。 「水」を見つめて、20年。	○ウォーターフェア’96 東京 (科学技術館)	・皇太子ご夫妻記念式典、展示会行啓 ・橋本内閣総理大臣記念式典臨席
平成9 (21)		夏、到来。	○ウォーターフェア’97 東京 (科学技術館) ○第5回水資源に関するシンポジウム (8.4～5)	
平成10 (22)		みんなで考えよう、 水の大切さ…。	○ウォーターフェア’98 東京 (科学技術館)	
平成11 (23)		「当たり前」ではありません！	○ウォーターフェア’99 東京 (科学技術館) ○水源地域からのメッセージ	・新しい全国総合水資源計画(ウォータープラン21)策定 ・小淵内閣総理大臣記念式典臨席、 展示会視察
平成12 (24)		水の力	○ウォーターフェア2000 東京 (江戸東京博物館)	
平成13 (25)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア’01 東京 (東京都庁)	・国土交通省発足(1.6) ・全国的な渇水
平成14 (26)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア’02 東京 (新宿パークタワー) ○第6回水資源に関するシンポジウム (8.2～3)	・皇太子殿下記念式典、展示会行啓
平成15 (27)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア’03 東京 (科学技術館)	・長い梅雨、冷夏
平成16 (28)		みんな水から始まった	○ウォーターフェア’04 東京 (科学技術館)	・東京の真夏日の連続記録更新 ・局所的な豪雨
平成17 (29)		みんな水から始まった	○ウォーターフェア’05 東京 (科学技術館)	・全国的な渇水 ・局所的な豪雨
平成18 (30)		水のある幸せ、これからも	○ウォーターフェア’06 東京 (科学技術館)	・皇太子殿下 水の展示会行啓 ・17年末に全国で大雪、降水量首都圏 は平年並み
平成19 (31)		水がある、いのちがある。	○ウォーターフェア’07 東京 (科学技術館) ○第7回水資源に関するシンポジウム (8.3～4)	・春から6月にかけ西日本を中心に少 雨続く、梅雨入りに遅れ、一部で渇 水、夏に記録的高温
平成20 (32)		水がはぐくむ和の暮らし	○ウォーターフェア’08 東京 ○水を考えるつどい(科学技術館)	・中国、四国地方を中心とした渇水 ・局所的な豪雨
平成21 (33)		将来を安全・安心に暮らすた め、水を大切に使う社会へ	○ウォーターフェア’09 東京 ○水を考えるつどい(科学技術館)	・中国、九州北部を中心とした記録的 な豪雨
平成22 (34)		水の安心・安全を考えよう！	○ウォーターフェア’10 東京 ○水の週間記念シンポジウム (科学技術館)	・局所的な豪雨 ・全国で記録的な猛暑
平成23 (35)		水の恵み～東日本大震災を機 に考える～	○水の週間中央行事「水の展示会」 ○「水の週間」水を考えるつどい (科学技術館)	・皇太子殿下水を考えるつどい行啓 ・平成23年7月新潟・福島豪雨 ・全国で節電の夏
平成24 (36)		水の恵みを未来に～健全な水循 環の再生を目指して～	○水の週間中央行事「水の展示会」 ○水の週間シンポジウム (科学技術館)	・平成24年7月九州北部豪雨 ・利根川水系渇水 ・全国で節電
平成25 (37)		安全・安心な水のために	○水の週間中央行事「水の展示会」 ○水の週間シンポジウム(発明会館)	・全国的な渇水 ・全国で記録的な猛暑、局所的な豪雨

年・回	サブスローガン	ポスターキャッチフレーズ	実施事項	備 考
平成 26 (38)		水とめぐる水のめぐみ	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(砂防会館) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・水循環基本法施行及び水循環政策本部設立 ・水循環基本法における「水の日」の法定化 ・平成 26 年 8 月豪雨(広島、京都など) ・御嶽山噴火
平成 27 (39)		みんなで考えよう!水のこと!	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(国連大学) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・水循環基本計画閣議決定(平成 27 年 7 月) ・平成 27 年 9 月東北・関東豪雨
平成 28 (40)		水とめぐる水のめぐみ	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(科学技術館) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・皇太子同妃両殿下 水を考えるつどい行啓 ・全国的な渇水
平成 29 (41)		水を探そう	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(イイノホール) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・平成 29 年 7 月九州北部豪雨 ・全国的な渇水
平成 30 (42)		水は、大切でした。	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(イイノホール) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・平成 30 年 7 月豪雨
令和元 (43)		私たちを支える水。考えてみませんか。訪ねてみませんか。	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(パークタワーホール) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・全国的な渇水 ・令和元年 8 月前線に伴う大雨による土砂災害発生(佐賀県、長崎県など) ・令和元年 9 月台風 15 号による住家被害、大規模停電、断水(千葉県) ・令和元年 10 月台風 19 号による堤防決壊(東日本)
令和 2 (44)		ポケットモンスターのシャワーズも 8 月 1 日「水の日」を応援しています。	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(Web 配信)	・世界中に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が蔓延 ・新たな「水循環基本計画」が閣議決定(令和 2 年 6 月) ・令和 2 年 7 月豪雨
令和 3 (45)		未来へうけつごう 日本のきれいな水	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(パークタワーホール) ○水の週間中央行事「水の展示会オンライン」	・新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が猛威 ・水循環基本法の一部改正(令和 3 年 6 月)、流域治水関連法の施行(令和 3 年 7 月) ・令和 3 年 7 月伊豆山土砂災害
令和 4 (46)		水を未来へつなごう シャワーズも応援!	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(イイノホール) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・水の展示会オンライン」	・水循環基本計画の一部見直し閣議決定(令和 4 年 6 月) ・瑠子女王殿下 水を考えるつどいご臨席 ・新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が猛威
令和 5 年 (47)		限りある水資源 私たちにできること	○「水の日」記念行事 水を考えるつどい(イイノホール) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」(音楽の友ホール)	・新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が 5 類へ移行(令和 5 年 5 月) ・瑠子女王殿下 水を考えるつどいご臨席
令和 6 年 (48)		めぐる水、みんなで	○「水の日」記念行事 水を考えるつどい(日経ホール) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」(科学技術館)	・令和 6 年能登半島地震 ・瑠子女王殿下 水を考えるつどいご臨席 ・新たな「水循環基本計画」が閣議決定(令和 6 年 8 月)

水の週間実行委員会について

昭和 53 年に、水に関係の深い民間団体により、「水の週間実行委員会」が設立され、「水の日」「水の週間」の趣旨に賛同し、この運動をさらに広汎な国民運動として推進することとして、政府・地方公共団体等が行う各種の啓発活動と連携して諸活動を実施している。

水の週間実行委員会設立趣意書

(昭和 53 年 5 月 8 日設立総会)

かつて、ケネディは「21 世紀を制するものは原子力と水だ」と断言し、水問題の重要性を訴えたが、まことに水は国の産業経済の発展のみならず人類の生存に必須なものであり、水問題の解決なくしては将来の発展は考えられないとあってよいであろう。

古来、我が国は、豊葦原瑞穂の国といわれ豊かな水に恵まれ“水の恩恵”を享受してきており、「水は天からもらい水」「湯水のように使う」などの言葉に示されるように水はいつでも好きなだけ使える無尽蔵な資源と考えられがちであった。

しかし、近年における生活水準の向上、産業経済の発展に伴い特に人口・産業の集中が著しい関東・近畿等の都市における生活用水、工業用水等の水需要が急激に増大し、渇水時における水不足や水質汚濁、地盤沈下等の問題を生じるどころとなり、ようやく「水」が限りある資源として認識されはじめたところであるが、まだ十分とはいえない。

このため、政府は、昭和 52 年に 8 月 1 日を「水の日」とし、この日から 1 週間を「水の週間」と定め水に関する国民の理解と認識を深めることとして、水に関する各種の啓発運動を実施したところであるが、誠に時宜を得た意義深いものであり、今後とも積極的な展開が望まれるところである。

とりわけ、開発適地の減少等からダム等による水資源開発が次第に困難となり近い将来における水需要のひっ迫が避けられず、今後は水利用の合理化等の施策の推進が必要となっている今日の状況に鑑みるならば、「水の週間」における啓発運動をさらに積極的に推進し、国民一人一人が水資源開発の重要性を十分認識し、水の有限性・貴重さを理解し節水等の具体的な行動に留意するような効果的な運動として盛り上げる必要がある。

このような考えのもとに、政府による「水の週間」の各種の啓発運動と一体となった諸行事を積極的に実施し、もって水資源問題解決の一助に資するものとして、「水」に深いかわりをもつ事業団体等によっての水の週間実行委員会を設立するものである。

水の週間実行委員会組織

名誉会長 虫明 功臣

会 長 小池 俊雄

令和6年10月15日現在

団 体 名	実 行 委 員	運 営 委 員	
全国水土里ネット 造水促進センター 日本治山治水協会 日本河川協会 日本工業用水協会 日本水道協会 全国簡易水道協議会 日本下水道協会 日本ダム協会 利根川・荒川水源地域対策基金 日本水フォーラム 地下水適正管理協議会 土木学会 農業農村工学会 国立研究開発法人 土木研究所 水災害・リスクマネジメント 国際センター 水資源機構	専務理事	室本 隆 司	広報センター所長
	理事長	山本 和 夫	専務理事
	会 長	山口 俊 一	専務理事
	会 長	甲村 謙 友	常務理事
	会 長	坂田 一 亮	専務理事
	理 事 長	青木 秀 幸	調査部長
	会 長	小田 祐 士	事務局長
	理 事 長	岡久 宏 史	常務理事
	会 長	押味 至 一	専務理事
	理 事 長	藤井 友 竝	事務局長
	常務理事	渡邊 和 足	
	代表理事	竹村 公 太 郎	ディレクター
	会 長	山本 和 夫	情報部会長
	会 長	佐々木 葉	専務理事
	会 長	西村 拓	専務理事
センター長	小池 俊 雄		
理 事 長	金尾 健 司	総務部長	
理 事	◎ 古橋 季 良		
			牧 千 瑞
			大熊 那夫紀
			津元 頼 光
			志賀 文 夫
			高田 浩 幸
			渋谷 正 夫
			小平 鉄 雄
			成田 儀 範
			光成 政 和
			明戸 邦 浩
			小宮 秀 樹
			島田 克 也
			三輪 準 二
			小泉 健
			長福 知 宏

団 体 名	実 行 委 員	運 営 委 員	
国土交通省（水資源部）	—	大臣官房 審議官 水資源政策課長 水資源計画課長 水資源政策課水源地域対策企画官 水資源政策課課長補佐	○片貝 敏雄 二俣 芳美 田中 敬也 齋 藤 悠 小林 亜希美
東京都（都市整備局）	—	東京都技監（都市整備局長兼務） 都市整備局理事（都市づくり政策担当） ＜都市整備局都市づくり政策部長事務取扱＞ 都市づくり政策部 水資源・建設副産物担当課長	谷崎 馨 一 山崎 弘 人 重野 達 史

◎運営委員長 ○運営副委員長

第48回「水の週間」ポスター

めぐる水、みんなで

水はそのいく先々で、
全ての生き物を、人々を支えています
みんなで守ろう
水が、まちが、私たちが
健やかであるために

8月1日は
水の日



2024ミス日本
「水の天使」
安井 南



ポケットモンスター
No.134 シャワーズ
タイプ みず
とくせい ちよすい

シャワーズはきれいな水辺に生息し、
細胞が水の分子に似ていることから、
「水の日」応援大使として
「水の日」を応援しています。



水循環基本法に基づき8月1日が
「水の日」と定められました。
8月1日から7日は「水の週間」です。

「水の日・水の週間」に関する情報は各ホームページへ
(首相官邸、国土交通省、水の日・水の週間)

www.mizunohi.jp

水の日 検索

主催 水循環政策本部、東京都、水の週間実行委員会ほか 後援 文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省ほか
©2024 Pokémon. ©1995-2024 Nintendo/ Creatures Inc., GAME FREAK inc. ポケットモンスター® ポケモン® Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

水の週間実行委員会事務局

〒330-6008 埼玉県さいたま市中央区新都心 11-2

独立行政法人水資源機構 総務部広報課内

TEL 048-600-6513 FAX 048-600-6510